

教育機会確保法を学ぶ全国キャラバン
不登校を考えるシンポジウム

2019年11月3日(日)

於：J:COMホルトホール大分
302・303会議室（3階）
大分市金池南一丁目5番1号

「普通教育機会確保法」は、「子ども一人ひとりが、安心して学び育つ社会を実現したい」という市民の願いが集まってできました。長年にわたり、不登校の子どもや親たちの「こころの声」を聴きながら活動されてきた奥地さんと、「確保法」に深く関わってこられた亀田さんの対談形式で、その経緯や内容やこれからの展望などをわかりやすく学びます。また、参加者からの質問の時間もたっぷりとしています。

対談 子ども中心の**学び**の時代へ
～なぜ、普通教育機会確保法か～

亀田 徹 氏 奥地 圭子 氏

1991年から文部省。文科省生徒指導室長を経て、2006年に文科省を退職し株式会社PHP研究所へ。政策シンクタンクPHP総研 教育マネジメント研究センター長として学校経営や教育政策に関する研究に従事。2014年に再び文科省に入省しフリースクール等を担当する日本初の視学官。2017年に文科省を退職し、株式会社LITALIGOに入社。

1941年生まれ。22年間小学校の教諭。在職中に親の会「登校拒否を考える会」を設立し現在も代表。1985年に退職後、フリースクール「東京シュレ」を開設し現在も代表。その他に「登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク」理事長、全国不登校新聞社代表理事、東京シュレ葛飾中学校理事長、文科省「フリースクール等検討会議」委員他多数を務めている。

講演 不登校の子どもを**支える**こころ
～親への支援は子ども支援～

加嶋 文哉 氏

1959年生まれ。大分大学卒業後、小学校教諭。在職中に「星の会」設立。現在は星の会（不登校・ひきこもりを考える親の会）代表。登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク理事。

日程

13:00	13:30	13:40	14:40	14:50	16:50	17:00
受付	開会行事	講演 加嶋文哉氏	休憩	対談 亀田徹氏・奥地圭子氏 参加者からの質問コーナーもあります	閉会行事	

参加費
無料

連絡先

電話：080-2717-9392（加嶋）

メール：toiawase@hoshinokai.net（氏名と連絡先、「キャラバン参加希望」と明記）

※事前の予約は連絡先へ。定員（140人）になりしだい、締め切らせていただきます。

〈主催〉 登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク

〈後援〉 大分県教委・大分合同新聞社